

平成 19 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況（連結）



平成 18 年 7 月 27 日

上場会社名 井村屋製菓株式会社

（コード番号：2209 東証・名証第2部）

（URL <http://www.imuraya.co.jp/>）

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 浅田 剛夫

問合せ先責任者 役職名 常務取締役兼執行役員財務部長 氏名 竹田 節郎 TEL：(059) 234 - 2147

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 引当金の計上基準等は一部簡便な方法を採用しております。
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成 19 年 3 月期第 1 四半期財務・業績の概況（平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 6 月 30 日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況（百万円未満切捨）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19 年 3 月期第 1 四半期	6,639	1.1	503	-	444	-	499	-
18 年 3 月期第 1 四半期	6,566	4.1	371	-	338	-	303	-
(参考)18 年 3 月期	33,557	1.7	631	34.6	746	29.0	521	7.2

	1 株当たり四半期（当期）純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期（当期）純利益
	円 銭	円 銭
19 年 3 月期第 1 四半期	20.26	-
18 年 3 月期第 1 四半期	12.58	-
(参考)18 年 3 月期	20.19	-

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 1 四半期（平成 18 年 4 月 1 日から平成 18 年 6 月 30 日）におきまして当社グループは「Be always for Customers」を当社グループのポリシーとして定め、組織面で「マーチャングroup」、「マーケティングgroup」、「マネジメントgroup」の三つのグループに大別し「つながり経営」と「商品力の向上」を実行する組織としスタートいたしました。

当期間における当社グループは、7～9 月の夏物商品の最需要期に最大の効果を得るための小売業への導入活動や、8 月からスタートする「肉まん あんまん」をはじめとした秋・冬物商品の『準備期間』ととらえ積極的に活動いたしました。

設備面におきましては、「あずきバー類」の市場拡大を目的として前期から進めてまいりましたアイスクリーム「バーサライン」(投資総額約 10 億円)を 6 月 1 日から本稼働させ、グループ子会社であります日本フード(株)におきましても、成長性の高いスパウチラインの増設(同、約 6 億円)を 5 月に行いました。また、秋・冬物商品の主力商品であります「あんまん」・「ぜんざい」の主原料であります「餡」の風味のさらなるアップを図るため餡製造設備(同、約 1 億 5 千万円)の井村屋製菓(株)、日本フード(株)両工場への導入を進めるなど、将来に向けて拡充を続けてまいりました。

売上面におきましては、天候不順もあり夏物商品の出遅れ感はありませんでしたが、前期、改革の途上で苦戦をいたしましたチルドフーズカンパニーが健康志向やダイエットブームの追風もあり「やわらか寒天」や「おいしく飲める寒天」が好評を得、加えて「有機」を特長とした「豆腐類」も業務用ルートをはじめとして大きく伸ばいたしました。また、シーズニングカンパニーにおきましても引き続き健康機能性素材が好調に推移しました。以上によって当期間の連結売上高は66億39百万円（前年同期比1.1%増）、井村屋製菓単体の売上高は60億63百万円（前年同期比0.9%増）となりました。

利益面におきましては、原油の高止まりによる重油や副材料への影響、砂糖価格の上昇は原価のアップとなりました。また、最需要期に先行したアイスクリームの広告宣伝や販売促進諸策を展開しましたが、当期間中に設備投資による減価償却費やリース料等の増加をカバーする効果にはいたりませんでした。

以上によって、連結経常損失は4億44百万円（前年同期連結経常損失3億38百万円）となりました。また、繰延税金資産の減少を目的とした有価証券の売却による売却益を計上し、強く改革を進めておりますフードサービスカンパニーにおける9月に退店するアンナミラズ不採算店の損失を引当てた結果、当期純損失は4億99百万円（前年同期当期純損失3億3百万円）となりました。

なお、当社グループは、第2四半期、第3四半期の需要期・最需要期を迎え、先行した設備投資を業容の拡大に繋げ、当期中の適宜な回収を図るとともに、調味料製造設備など必要な投資は継続して行ってまいります。

(2)財政状態（連結）の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第1四半期	24,771	11,185	45.2	442.99
18年3月期第1四半期	22,532	11,091	49.2	438.34
(参考)18年3月期	23,733	12,062	50.8	477.67

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

第1四半期末における株主資本が期末と比べて減少するのは、前期利益処分に加え、第1四半期が年間を通じ売上が最も低調な時期にあり、収益面でも赤字基調であることによっております。当グループは第1四半期の収益改善を経営課題と認識しており改革に向けて取り組んでおります。

3. 平成19年3月期の連結業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

当初予想（平成18年5月11日公表）と変更はありません。

業績予想につきましては、決算日現在において、入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上

1.(要約)四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前第1四半期末 (平成17.6.30)		当第1四半期末 (平成18.6.30)		増減 金 額	(参考) 前連結会計年度末 (平成18.3.31)	
	金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
(資産の部)							
流動資産							
現金及び預金	829		751		78	960	
受取手形及び売掛金	5,159		5,250		91	4,975	
たな卸資産	2,845		2,964		119	2,424	
繰延税金資産	357		306		51	316	
その他の流動資産	224		255		31	351	
貸倒引当金	0		1		1	1	
流動資産合計	9,415	41.8	9,526	38.5	111	9,026	38.0
固定資産							
有形固定資産	10,527		12,416		1,889	11,664	
無形固定資産	25		42		17	43	
投資その他の資産	3,027		3,143		116	3,360	
貸倒引当金	463		358		105	360	
固定資産合計	13,117	58.2	15,244	61.5	2,127	14,706	62.0
資産合計	22,532	100.0	24,771	100.0	2,239	23,733	100.0
(負債の部)							
流動負債							
支払手形及び買掛金	3,638		3,799		161	3,533	
短期借入金	1,795		3,021		1,226	1,427	
賞与引当金	337		274		63	414	
未払金	1,761		2,378		617	2,279	
設備関係支払手形	504		689		185	675	
その他の流動負債	608		445		163	423	
流動負債合計	8,645	38.4	10,609	42.8	1,964	8,753	36.9
固定負債							
長期借入金	876		811		65	744	
退職給付引当金	758		763		5	780	
役員退職慰労引当金	172		156		16	147	
再評価に係る繰延税金負債	978		1,234		256	1,234	
その他の固定負債	10		11		1	11	
固定負債合計	2,795	12.4	2,976	12.0	181	2,918	12.3
負債合計	11,440	50.8	13,586	54.8	2,146	11,671	49.2

科 目	前第 1 四半期末 (平成 17.6.30)		当第 1 四半期末 (平成 18.6.30)		増減 金 額	(参考) 前連結会計年度末 (平成 18.3.31)	
	金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
(資本の部)							
資本金	2,253	10.0	-	-	2,253	2,253	9.5
資本剰余金	2,320	10.3	-	-	2,320	2,321	9.8
利益剰余金	5,028	22.3	-	-	5,028	5,903	24.9
土地再評価差額金	1,460	6.4	-	-	1,460	1,203	5.0
その他有価証券評価差額金	203	0.9	-	-	203	572	2.4
為替換算調整勘定	7	0.0	-	-	7	1	0.0
自己株式	167	0.7	-	-	167	195	0.8
資本合計	11,091	49.2	-	-	11,091	12,062	50.8
負債、少数株主持分及び資本合計	22,532	100.0	-	-	22,532	23,733	100.0
(純資産の部)							
株主資本							
資本金	-	-	2,253	9.1	2,253	-	-
資本剰余金	-	-	2,321	9.4	2,321	-	-
利益剰余金	-	-	5,190	21.0	5,190	-	-
自己株式	-	-	198	0.8	198	-	-
株主資本合計	-	-	9,568	38.7	9,568	-	-
評価・換算差額等							
土地評価差額金	-	-	1,203	4.9	1,203	-	-
その他有価証券評価差額金	-	-	410	1.6	410	-	-
為替換算調整勘定	-	-	2	0.0	2	-	-
評価・換算差額等合計	-	-	1,617	6.5	1,617	-	-
純資産合計	-	-	11,185	45.2	11,185	-	-
負債及び純資産合計	-	-	24,771	100.0	24,771	-	-

2.(要約)四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前第1四半期 〔自平成17.4.1〕 〔至平成17.6.30〕		当第1四半期 〔自平成18.4.1〕 〔至平成18.6.30〕		増減 金 額	(参考) 前連結会計年度 〔自平成17.4.1〕 〔至平成18.3.31〕	
	金 額	百分比	金 額	百分比		金 額	百分比
売上高	6,566	100.0	6,639	100.0	73	33,557	100.0
売上原価	4,490	68.4	4,706	70.9	216	22,065	65.8
売上総利益	2,076	31.6	1,933	29.1	143	11,492	34.2
販売費及び一般管理費	2,447	37.2	2,437	36.7	10	10,860	32.3
営業利益又は営業損失()	371	5.6	503	7.6	132	631	1.9
営業外収益	53	0.8	84	1.3	31	209	0.6
受取利息	0		0		0	1	
受取配当金	12		16		4	19	
持分法による投資利益	3		0		3	3	
その他の収益	36		67		31	184	
営業外費用	21	0.3	25	0.4	4	93	0.3
支払利息	4		8		4	26	
その他の費用	16		17		1	67	
経常利益又は経常損失()	338	5.1	444	6.7	106	746	2.2
特別利益	269	4.1	70	1.1	199	403	1.2
投資有価証券売却益	192		68		124	200	
その他の利益	77		2		75	203	
特別損失	56	0.9	64	1.0	8	310	0.9
固定資産売却損除却損	56		15		41	229	
その他の損失	-		48		48	81	
税金等調整前四半期(当期) 純利益又は税金等調整前四 半期(当期)純損失()	126	1.9	438	6.6	312	839	2.5
税金費用	176	2.7	60	0.9	116	309	0.9
少数株主利益又は少数株 主損失()	-	-	-	-	-	8	0.0
四半期(当期)純利益又 は四半期(当期)純損失 ()	303	4.6	499	7.5	196	521	1.6